

各位

会社名 リネットジャパングループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 武志
(コード番号: 3556 東証グロース 名証メイン)
問合わせ先 執行役員管理本部長 大谷 栄一
(TEL 052-589-2292)

SBI 地域事業承継投資のファンドと提携し、
障がい者グループホーム業界におけるロールアップ型 M&A の検討開始について

当社は、2026年3月5日の取締役会において、当社とSBI 地域事業承継投資株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今井 章、以下「SBI 地域事業承継投資」）が運営する事業承継ファンド（現在運用中の「SBI 地域事業承継投資 2号投資事業有限責任組合」）にて、**障がい者グループホーム業界における中小事業者の事業承継型、ロールアップ型のM&Aに今後着手**（M&A先をどこにするか「検討」する）していくことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日合わせて発表しました障がい者グループホーム等を展開する当社ソーシャルケア事業の2026年度から2030年度までの中期計画『Social Care Growth & Roll-up 2030』においても自社立ち上げに加え、**ロールアップ型M&Aを積極的に展開する方針**を掲げています。2030年にはソーシャルケア事業売上で70～90億円、Non-GAAP 営業利益で14～18億円レベルの収益力構築を目指しており、今回のSBI 地域事業承継投資との提携はその実現に向け重要な提携と位置付けるものとなります。

障がい者グループホーム業界は、小～中規模事業者が数多く存在しており、事業承継問題が顕在化しています。また、事業規模が小さいことから経営管理面に十分な人的リソースを割けない等の課題を抱えています。これらの事業者を集約する形で経営のスケールアップすることで経営の効率化、レベルアップを図り、事業承継問題、障がい者の「住まい」の課題を解決してまいります。

（注）中小事業者の事業承継型のM&Aは、後継者不足に悩む経営者が第三者（企業）へ事業や株式を譲渡し、廃業を回避して会社と雇用を残す手法です。

また、ロールアップ型のM&Aとは、同業種や類似ビジネスモデルを持つ複数の小規模企業を短期間かつ計画的に買収・統合し、一つの巨大な組織へ再編する成長戦略です。単体では限定的な資源しか持たない中小企業をまとめ上げることで、規模の経済によるコスト削減、シェア拡大、経営効率化（シナジー）を狙う手法であります。

記

両社の具体的な役割分担は以下の通りです。

【当社の役割】

- (1) グループホーム運営ノウハウのコンサルティング
- (2) ファンドと連携したPMI (Post Merger Integration) の実行
- (3) ロールアップ対象への一部出資の検討

【SBI 地域事業承継投資の役割】

- (1) 事業承継ファンドの組成・運用
- (2) 地域金融機関等と連携した候補企業のソーシング
- (3) ファンドによる投資後、バックオフィス機能の強化・費用構造の最適化（上場企業レベルの内部管理体制の実現）

SBI 地域事業承継投資株式会社

会社名	SBI 地域事業承継投資株式会社
所在地	東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
代表者	今井 章
設立日	2019 年 2 月 28 日
資本金	5 百万円
事業内容	事業承継ファンドの運用

当社と SBI 地域事業承継投資は相互の強みを活かしながら連携することにより、小規模事業者の多い障がい福祉業界において、経営のスケールアップを図ることで、「施設運営レベル」「管理レベル」を引き上げ、障がい者の「住まい」の課題を解決してまいります。

以 上